

図画工作科学習指導案

1. 題 材 うつしてみると

2. 題材について

本題材は、こんなことをしてみたいな、こんなことがあったら素敵だなと思うことを想像しながら、紙を切ったり、組み合わせたり、貼り重ねたりして簡単な版をつくり、表したいことを紙版にして表す題材である。

本題材では、児童の興味・関心を高めるきっかけとしてタックカラー紙（カラーインクが染みた紙）を使用する。タックカラー紙を使って版をつくることは、紙の大きさや12種類の色の組合せ、配置を工夫しながら、自分の思いを紙版画に表す楽しさを味わうことができる。また、切り取った紙の組み合わせや配置を考えて構成することで、つくり出す力を伸ばすことができる。友達とつくる過程やできた作品について話をしたり、見せ合ったりすることで、互いのつくり方や作品のよさに気づき、感じ取る力を伸ばすこともできる。紙版画には、版をつくる（切る・重ねる・貼る）、刷るといういくつかの活動内容があるので、版に表す楽しさや刷り上がったときの満足感を味わうことができる。

主題としては、ザリガニを扱うこととした。本校では、生活科の時間に別保川で1・2年生が合同でザリガニつりをするという活動がある。1年生にザリガニのことやつり方を教えるために、2年生は1学期からザリガニについて調べ、まとめたことを1年生に紹介するという活動も行っている。1年生につり方を教えた経験やザリガニについて調べたことが2年生にとってよい思い出になっていることから、主題としてふさわしいと考えた。

3. 児童について

《省略》

4. 部会研究テーマと本題材・本時案との関わり

昨年度の図工・美術部会では、小中学校の連携として、表現の中の絵画（特に、絵の具の混色や道具の扱い方）に焦点をあて、指導のあり方や教材についての系統性について研修を深めた。小中9年間の指導を見通す際には、学習指導要領の目標や内容、および系統に立ち返る必要がある。系統のベースとなる小学校低学年の授業において、好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだり、偶然にできた形から新たに発想したりしながら表すことで、部会のテーマである「子どもの良さを生かし、豊かに広がる造形教育をめざして」にせまることができるのではないかと考え、本題材を設定した。

5. 題材の目標

- 好きな色を選ぶことや紙版に表すこと、印刷することなどを楽しむことができる。
(関心・意欲・態度)
- 好きなタックカラー紙を選んで切ったり、組み合わせたり、貼り重ねたりして、楽しみながら版をつくることができる。
(発想や構想の能力)
- 紙版画の特徴や表現方法を理解し、タックカラー紙の色や大きさ、切り取った形の組合せや配置を試みて、表し方を工夫しながら表現することができる。
(創造的な技能)
- 制作過程や作品を見合い、自分や友達の表現の工夫や作品の面白さに気づくことができる。
(鑑賞)

6. 題材の評価規準

- 紙版に表すことや、印刷することを楽しもうとしている。(関心・意欲・態度)
- 紙版の表し方を知り、どのように表すかを考えている。(発想や構想の能力)
- 紙版の表し方を用いて、版のつくり方を工夫して表している。(創造的な技能)
- できた作品を見せ合い、自分や友人の作品の面白さに気づいている。(鑑賞)

7. 題材の学習計画 (全5時間)

時間	児童の活動の流れ	教師の役割や指導のポイント
35分	<p>○ザリガニつりをしたときのことを想起して、ワークシートに簡単な絵と文を書く。 「ザリガニを持ったときハサミを大きく広げたよ。」 「逃げ足が速かったな。」</p>	<p>●ワークシートにつったときのザリガニの様子を簡単な絵と文で書かせる。 ・逃げようとするザリガニ ・怒ったザリガニ ・遊んでいるザリガニ …</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ザリガニつりでいろいろな表情のザリガニの様子を思い浮かべ、活動への意欲をもつ。</div>	
100分	<p>○どんな様子のザリガニを紙版に表すか考え、もともになる大まかな形をつくる。</p> <p>○必要な部分をつくり、もともになる形に貼り重ね、表したい形ができてくる楽しさを味わう。 ・「手や足の重ね方をどうすればいかな。」</p>	<p>●児童の考えを取り上げて紹介し、表したいことを構想していくきっかけとする。</p> <p>●下絵をかく場合には、大まかに表すようにしたい。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">紙を切ったり、貼ったりしながら表したい形のイメージを広げ、版をつくる活動を楽しむ。</div>	

<p>ひろがり ② 本時 (45分 / 70分)</p>	<p>○みんなで協力して、刷りの環境を整える。 ・「新聞紙を敷いたかな。」「刷る紙を置く場所をどこにしようか。」 ・刷りの活動への期待感をもつ。</p> <p>○版を置く位置を考えて思ったような版面になるように刷る。 ・「わあ、できたよ。」 ・刷り上がった満足感を味わう。</p>	<p>●版づくりが終わっていない児童もいるので、子ども同士の協力にも期待したい。 ・水を吹きかける場所、バレンでする場所、刷った作品を置く場所などをわかりやすく、使いやすく設置する。</p> <p>●刷るときの手置き方、バレンの持ち方、水をかける量、友人と協力して行う方法などをやって見せることで、活動に意欲を持たせたい。</p>
<p>ふりかえり (20分)</p>	<p>○友人と作品を見せ合い、工夫した点を話し合う。</p> <p>○次回の活動に備え、使用した用具などをていねいに片付ける。</p>	<p>●作品を展示して、みんなで鑑賞できる場を設定する。</p> <p>●用具ごとに、片付け方や汚れの落とし方などを知らせ、楽しく後片付けができるように配慮したい。</p>
<p>友人と協力して活動の準備をし、版の置き方を工夫して刷る活動の楽しさを味わう。</p>		
<p>自分や友人の作品を見て、版のつくり方や置き方の工夫、刷った形の面白さなどを感じる。</p>		

8. 本時案

(1) 本時の目標

○友達と協力して準備すること、紙版をつくること、印刷することを楽しむことができる。

(2) 本時の展開

時間	児童の活動の流れ	教師の役割や指導のポイント
8分	○本時の活動に期待感を持つ。	●水を吹きかける場所，バレンでこする場所，刷った作品を置く場所をおおまかに決めて，友達と協力して刷ることを伝える。
2分	○活動の工程を知る。 「友達と協力して，うまくできるといいな。」 「紙をどのように置こうかな。」	●水加減や刷り方の実演をする。(手順の掲示) ・刷る活動へ期待感を持たせたい。 ●刷る紙の置き方によって作品の感じが変わることがわかるように刷ったもの(2枚)を見せる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・友人と協力して活動の準備をし，版の置き方を工夫して刷る活動の楽しさを味わう。 ・完成したときを想像しながら，自分の思いを大切に版づくりや刷る活動を行う。 </div>
10分	○友達と協力して，刷りの環境を整える。 「刷る順番にあわせて場所を決めよう。」	(T2は主に活動が遅れている児童の支援を行う。) ●刷りの環境づくりに助言しつつ，版をつくり終わっていない児童に個別に支援する。
20分	○友達と協力して印刷する。 「水の加減は大丈夫かな。」 「少し斜めにして紙を置こう。」 「すみずみをバレンでこすろう。」 「ザリガニが動いているみたい。」 「前向き(横向き)のザリガニもいいな。」	●全て友達がやってしまわないように，必要に応じて手伝うことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して準備をしたり，紙版をつくったり，印刷することを楽しんでいる。 <p style="text-align: right;">(行動観察・発言)</p> </div> ●自分や友達の作品の良さや工夫に気づくように，印刷が終わったものを黒板に貼っていく。 ・刷り終わった満足感を味わわせたい。
5分	○友達と協力して片付ける。	●次時の活動で，印刷の続きと活動の振り返りや鑑賞を行うことを伝える。